第26回東京都少年新人軟式野球大会コントリビュート・トーナメント3位
&
第29回 関東・東北・北信越少年新人（中学）軟式野球大会出場報告

立川市長 表敬訪問　参加者名簿

日時：令和8年 11月13日（金）16:30～
訪問チーム：[立川ベースボールクラブ]

氏名	年齢	ふりがな	備考
木原　宏	50	きはら　ひろし	立川市少年野球連盟　会長
岩下　主	54	いわした　ちから	立川ﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙｸﾗﾌﾞ　代表・監督
青柳　治郎	50	あおやぎ　じろう	立川市少年野球連盟　副理事長

	氏名	年齢	ふりがな	所属中学校	学年
1	勝部　玲司【主将】	14	かつべ　れいじ	第三中学校	2年
2	加藤　玲桜	14	かとう　れお	第三中学校	2年
3	関田　大遥	14	せきた　たいよう	第四中学校	2年
4	山崎　瑛翔	14	やまざき　えいと	第四中学校	2年
5	長井　歩海	14	ながい　あゆみ	第五中学校	2年
6	井筒　啓光	14	いづつ　あきみつ	第五中学校	2年

	氏名	年齢	ふりがな	所属中学校	学年
7	赤西　大輝	14	あかにし　だいき	第五中学校	2年
8	赤羽　力侑	14	あかばね　りいく	第五中学校	2年
9	宮城　煌生	14	みやぎ　こうせい	第七中学校	2年
10	別所　将	14	べっしょ　ゆき	第七中学校	1年
11	小林　夏輝	13	こばやし　なつき	第九中学校	1年
12	御法川　紘人	13	みのりかわ　ひろと	第九中学校	1年



市長室にて

令和8年11月13日に市役所・市長室において、少年野球連盟・木原会長とともに酒井市長を表敬訪問し、「第26回東京都少年新人軟式野球大会コントリビュート・トーナメント3位」及び「第29回 関東・東北・北信越少年新人（中学）軟式野球大会出場」について報告を実施しました。

選手たちは、なかなか立入ることのできない市長室において緊張の面持ちながら、これまでの取組みや結果報告を実施し、貴重な経験をすることができました。

また、市長からは、ご自身の経験も含めた熱い激励の言葉をもらい、勝部キャプテンをはじめ、選手たちは来シーズンへ向けての決意を新たにすることができました。

第26回東京都少年新人軟式野球大会
コントリビュート・トーナメント 概要と戦績

立川ベースボールクラブ 東京都第3位への道のり

■大会概要（令和8年度）

◇ 大会名：令和8年度 第26回東京都少年新人（中学）軟式野球大会 コントリビュート・トーナメント
◇ 日程：2026年9月19日（開幕）～ 10月25日（準決勝・代表決定戦） ※雨天順延あり
◇ 主催 / 協賛：公益財団法人 東京都軟式野球連盟 / 株式会社コントリビュート
◇ 対象：中学軟式野球 新チーム（1・2年生）
◇ 上位特典：・上位2チーム：文部科学大臣杯 第18回全日本少年春季軟式野球大会（2027年3月・岡山）への出場権
・第3位選出チーム：第29回関東・東北・北信越少年新人軟式野球大会への出場権



■大会戦績

◇ 三位決定戦
〇11対5 vs 上馬ｼﾆｱ野球ｸﾗﾌﾞ（世田谷）※準決勝と同日

◇ 準決勝
●3対7 vs 国分寺ﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙｸﾗﾌﾞ（国分寺）10月25日（於：奥戸総合ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ野球場）

◇ 4回戦
〇6対1 vs リトルジャイアンツ（葛飾） 10月18日（於：第二柴又野球場）

◇ 3回戦
〇3対2 vs 石泉クラブB（練馬） 10月11日（於：奥戸総合ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ野球場）

◇ 2回戦
〇2対1 vs 東海大菅生中学（中体連） 10月4日（於：奥戸総合ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ野球場）

◇ 1回戦
〇5対4 vs サンジュニア（台東） 9月19日（於：京成鉄橋上流野球場）

第29回 関東・東北・北信越少年新人（中学）軟式野球大会

― 大会開催概要 ＆ 試合結果 ―

■大会開催概要

◇ 会期：2026年11月7日（土）～ 11月8日（日） ※2日間・雨天中止
◇ 会場栃木県内各球場（ｴｲｼﾞｪｯｸｽﾀｼﾞｱﾑ、宇都宮清原球場、宮原運動公園野球場 ほか）
◇ 主催：一般社団法人 関東軟式野球連盟連合会、下野新聞社
◇ 主管：一般財団法人 栃木県野球連盟
◇ 後援：栃木県、栃木県教育委員会、宇都宮市、宇都宮市教育委員会
◇ 大会趣旨：関東・東北・北信越の各地区予選を勝ち抜いた、新チーム（中学1・2年生）の代表16チームが秋の東日本頂点を目指すトーナメント戦

■出場チーム

関東地区（9チーム）
【東京都】立川ベースボールクラブ
【茨城県】稲敷BBC・美浦村立美浦中学校
【栃木県】小山市立小山城南中学校（開催地・県準優勝）
【栃木県】作新学院中等部（開催地・県優勝）
【埼玉県】北本市立北本中学校
【群馬県】桐生第一中学校
【千葉県】東海大学付属浦安高等学校中等部
【神奈川県】平塚アルタイルズ
【山梨県】韮崎市立韮崎東中学校

東北地区（2チーム）
【宮城県】大崎西部ベースボールクラブ
【福島県】石川義塾中学校

北信越地区（5チーム）
【新潟県】KWBC
【長野県】浅間中学校
【富山県】南砺ベースボールクラブ出町中学校
【石川県】津幡町立津幡南中学校
【福井県】永平寺軟式野球クラブ

■試合結果

◇ オープン戦②（11月8日）
〇1対0　vs　石川義塾中学校（福島県）
◇オープン戦②（11月8日）
●0対3　vs　作新学院中等部（栃木県）
◇オープン戦①（11月7日）
●4対5　vs　下町市立石橋中学（栃木県）
◇ 1回戦　（11月7日）
●3対4　vs　南砺ベースボールクラブ出町中（富山）





立川ベースボールクラブ（TBC）

・チーム概要と指導方針

【チーム概要】
- 拠点：東京都立川市
- 設立：2012年11月
- 所属：立川少年野球連盟
- 運営：一般社団法人スポーツ友好協会
- 本拠地：見影橋公園野球場
- 2026チーム構成

代表・監督：岩下主　コーチ：浦澤淳　高橋俊輔
選手　1年生：12名　2年生：22名　3年生14名（計48名）

【指導方針】

「野球の強さより、男としての強さを求めます」
- 技術の向上だけでなく、精神的な自立や人間性の育成を最優先に指導。
- 高校進学後の野球、さらには社会に出てからも通用する「人間力の土台」を作ります。

・独自のチーム特徴と育成環境

【画期的な育成システム】

- 冬期の対外試合は一切禁止（12月～2月末）
  肉体強化、栄養学、コンディショニング等の座学やトレーニングを徹底し、高校で力負けしない土台を構築。
- 恵まれた練習環境
  「見影橋公園野球場」を固定の本拠地として使用。3箇所同時フリーバッティング等、充実の設備。

【保護者負担ゼロ ＆ 卒団生の進路】

- 保護者のお手伝い・お茶当番なし
  少年野球で負担になりがちな保護者の役割をなくし、純粋に応援・サポートができる体制を用意。
- 多数の強豪高校への進路実績
  東海大菅生、八王子学園、国士舘、堀越、東亜学園、銚子商業、聖望学園、佐久長聖など、甲子園出場経験のある名門校の主力として卒団生が多数活躍。

・主な沿革と実績の軌跡

・2012年 11月 ： チーム設立。立川少年野球連盟に所属し活動開始。

・2018年8月：第50回東京都少年軟式野球大会　第3位

・ 2019年8月：第51回東京都少年軟式野球大会　第3位

「2年連続東京都第3位」の快挙。都内の強豪としての地位を確立。

・2022年 ： OBの石毛陽巳選手（6期生）が徳島インディゴソックス入団。

チーム初のプロ野球選手輩出。

・2023年 12月 ： 第3回秋季GIANTS杯東京都中学軟式野球大会にて「初優勝」を飾る。

・2025年8月：第57回東京都少年軟式野球大会　第3位

・2026年 10月 ： 第26回東京都少年新人大会（コントリビュート杯）にて「第3位」に輝く。

11月 ： 第29回関東・東北・北信越少年新人大会への出場。